

2020年3月期

# 決算説明資料

2020年5月12日

東証1部 コード6569  
 **日総工産株式会社**

## サマリー

### ■ 2020年3月期 実績

- ・ 2020年3月期連結実績 前期比増収増益となる（経常利益）
- ・ 自動車関連は堅調に推移するが、下期以降、一部減少となる
- ・ 電子デバイス関連は本格的な回復には至らず
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大による影響が発生し始めるが、2020年3月期連結業績への影響は限定的

### ■ 2021年3月期 連結業績予想

新型コロナウイルス感染拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから、2021年3月期業績予想は未定

- ・2020年3月期の連結業績は増収増益となりました。
- ・その大きな理由として、日総工産において自動車関係が好調であったことなどが挙げられます。
- ・3月の新型コロナウイルス感染拡大の影響は限定的に留まりました。
- ・2021年3月期連結業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大の影響が現段階では合理的に見通すことが難しいため、未定とさせていただきます。

**1. 2020年3月期 決算概要**

**1-1 活動の概況**

**1-2 今後の見通し**

**2.株主還元方針**

**3.補足資料**

# 1. 2020年3月期 決算概要

・2020年3月期決算概要についてご説明いたします。

## 2020年3月期 単体業績ハイライト



- 売上高は、自動車関係は上期は好調に推移したが、下期に一部減少がみられた。電子デバイスは本格的な回復に至らず、また全体として稼働状況が低調であったことなどにより 前期比9.0%増に留まる
- 費用面では、採用費用や研修費用などが増加したが、費用全般の抑制に努め、営業利益額は前期比5.3%増となる

(単位：百万円)

	19年3月期		20年3月期		対前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	63,474	100.0%	69,209	100.0%	5,734	9.0%
売上総利益	11,603	18.3%	12,492	18.1%	889	7.7%
販管費	8,641	13.6%	9,373	13.5%	732	8.5%
営業利益	2,962	4.7%	3,119	4.5%	156	5.3%
経常利益	2,943	4.6%	3,124	4.5%	181	6.2%
当期純利益	2,240	3.5%	2,030	2.9%	▲210	▲9.4%

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

4

・2020年3月期の日総工産単体業績についてご説明いたします。

- ・売上高につきましては、692億9百万円(前期比57億34百万円、9.0%増)となりました。
- ・営業利益につきましては、31億19百万円(前期比1億56百万円、5.3%増)となりました。
- ・自動車関連において、特に上期が好調であったことが業績を伸ばせた大きな要因であるといえます。
- ・電子デバイスでは、5Gの普及に期待をしておりましたが、残念ながら、一部では明るい兆しは見えているものの全体としての回復には至りませんでした。

## 2020年3月期 四半期単位の単体業績推移



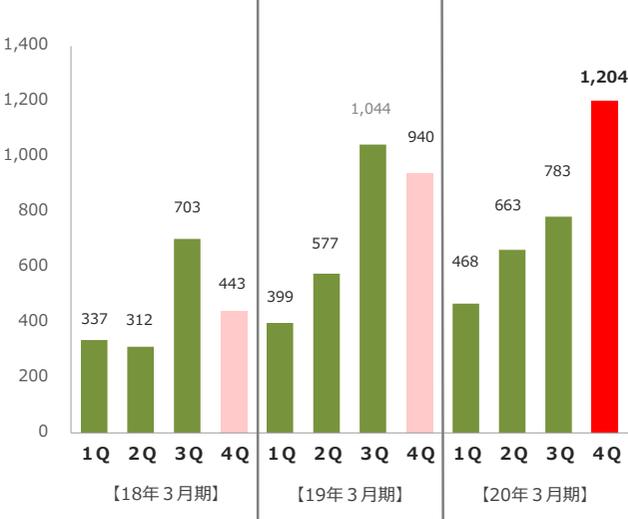
### 売上高

(単位：百万円)



### 営業利益

(単位：百万円)



Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

5

- ・日総工産単体の売上高と営業利益の四半期単位の推移グラフとなります。
- ・本来であれば第3四半期は最も売上高が伸び、利益がでるのですが、貿易摩擦等の影響もあり、2020年3月期の第3四半期は時間外残業、休日出勤が少なかったことにより、このような結果となりました。
- ・第4四半期では、新型コロナウイルス感染拡大の影響がもっと大きいと予想していたのですが、限定的に留まり、売上高も好調に推移し、それに伴い過去最高の利益をあげることができました。

## 2020年3月期 連結業績ハイライト



- 総合人材サービス事業：技能社員、アカウント企業戦略を引き続き展開  
在籍の増加や1人当たり売上高の上昇により売上高は増加。費用面では採用、研修などの費用が増加
- その他の事業：すいとぴー東戸塚入居者増により売上高は増加。費用面で入居者増加のための人件費等が増加したが、既存施設での費用抑制などにより、前期より赤字幅は縮小となる

(単位：百万円)

	19年3月期		20年3月期		対前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	69,161	100.0%	74,966	100.0%	5,805	8.4%
売上総利益	12,239	17.7%	13,115	17.5%	876	7.2%
販管費	9,370	13.5%	10,054	13.4%	684	7.3%
営業利益	2,869	4.1%	3,061	4.1%	191	6.7%
経常利益	2,895	4.2%	3,149	4.2%	254	8.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,053	3.0%	2,033	2.7%	▲20	▲1.0%

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

6

・2020年3月期の連結業績についてご説明いたします。

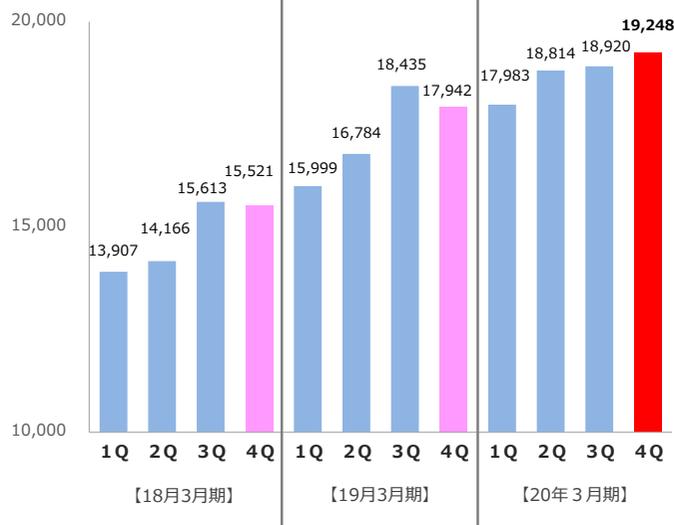
- ・売上高につきましては、749億66百万円(前期比58億5百万円、8.4%増)となりました。
- ・営業利益につきましては、30億61百万円(前期比1億91百万円、6.7%増)となりました。
- ・連結業績においては、日総工産の実績が大きく影響しております。
- ・その他の事業において、すいとぴー東戸塚の入居者増ということが赤字幅の縮小につながっております。

# 2020年3月期 四半期単位の連結業績推移



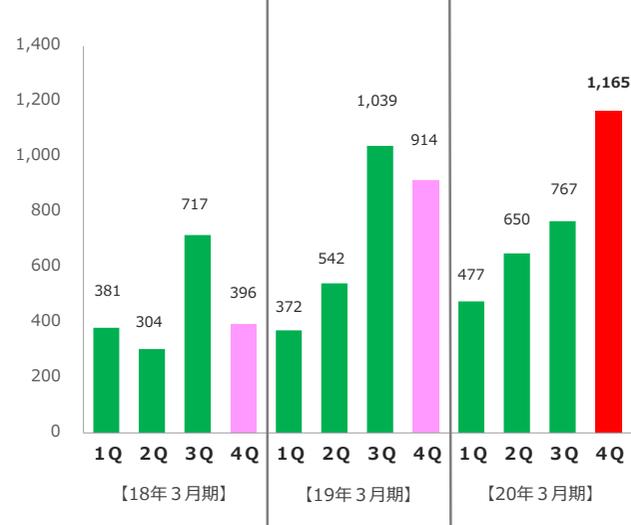
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

(単位：百万円)



・連結の売上高と営業利益の四半期単位の推移グラフとなります。

## 1-1 活動の概況

## 連結業績

売上高 74,966百万円  
(前期比 + 5,805百万円)  
 営業利益 3,061百万円  
(前期比 + 191百万円)

- 売上高 前期比増収 (+8.4%)
- 営業利益 前期比増益 (+6.7%)

## 業種別売上高

(対前期)  
 自動車 …+ 26.0%  
 電子デバイス …▲ 0.6 %

- 自動車は、上期はアカウント企業Gを中心とした需要増加に伴い好調に推移、下期には一部で需要の落ち込みが見られたものの、新車種投入による需要が増加し、全体としては増加となる
- 電子デバイスは、製品需要が停滞で推移したことにより、一部の企業では増加となるが、全体では減少となる

## 四半期末在籍者数

14,770名 (前期末比+728名)  
 …前年同期は+1,598名増

- 自動車関連企業からの需要は好調に推移したが、全体としての需要はゆるやかな増加となり、期末在籍者数は対前期末728名の増加となる
- 期末在籍数は第3四半期末に対し、自動車および半導体企業における需要増加により132名の増加

## 一人当たり売上高/月

397千円 (前期比+5.5千円)  
 …前期は+24.5千円

- 高単価作業所への技能社員の配属を推進するも、稼働時間の減少（残業、休日出勤）により一人当たりの売上高は微増に留まる

## 業績サマリー

## 業種について

- ・自動車は上期が好調に推移し、前期比26.0%の増となっております。
- ・電子デバイスは第3四半期の時点では、前年同期比マイナス4.0%でしたが、マイナス幅が縮小してマイナス0.6%と改善しております。

## 在籍について

- ・2020年3月期末の在籍は14,770名となり、1年間で728名の増加となっております。2019年3月期は1年間で約1,600名の増加でした。
- ・上期は2019年3月期と同様に伸長いたしましたが、下期はほぼ横ばいで推移いたしました。

## 一人当たりの売上高について

- ・前期比では若干増加しましたが、その増え方に少しブレーキがかかってきております。

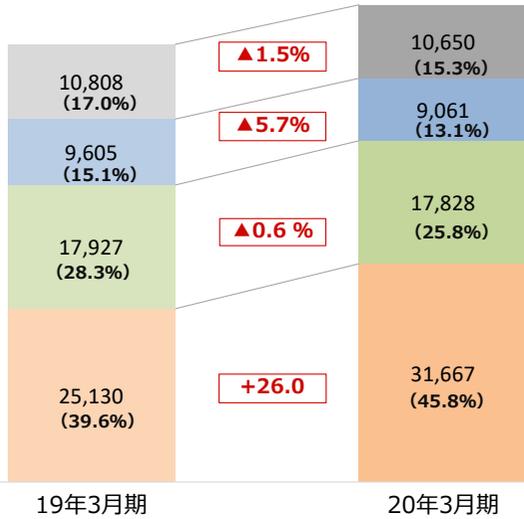
# 2020年3月期 業種別売上高（単体）



## 売上高構成比推移

(単位：百万円)

自動車 電子デバイス 精密・電気機械 その他



### 電子デバイス

一部の半導体企業の需要は増加したが、電子部品関連企業の多くは市況低迷が続き、回復には至らず、売上高は減少となる

### 自動車

下期以降、一部の企業では生産が減少となったが、全体としてはアカウント企業Gにおける新車種の投入、自動車部品企業からの需要増加などにより売上高は増加となる

※ ( ) 内%は全売上高比、□内%は、対前年同期比伸長率

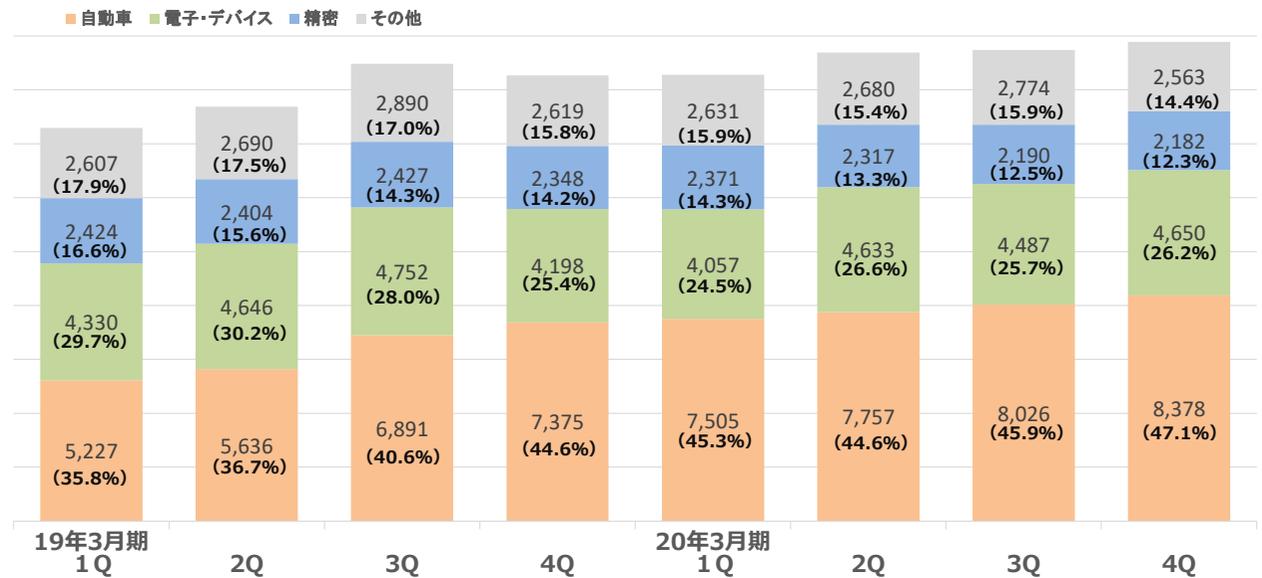
Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

・日総工産単体の業種別売上高となります。

## 2020年3月期 4半期単位業種別売上高（単体）



（単位：百万円）



※（ ）内%は全売上高比

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

11

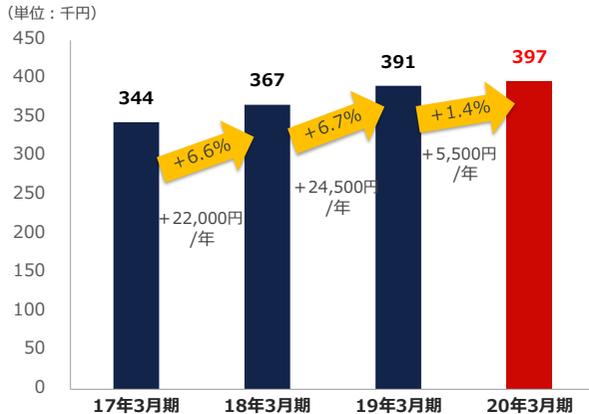
- ・業種別売上高の四半期単位の推移グラフとなります。
- ・2020年3月期第3四半期から第4四半期にかけて自動車、電子デバイスがアカウント企業を中心に伸長しているということが大きな特徴であり、第4四半期にアカウント企業への配属が順調に行われた表れであるといえます。

## 一人当たり売上高推移（単体）

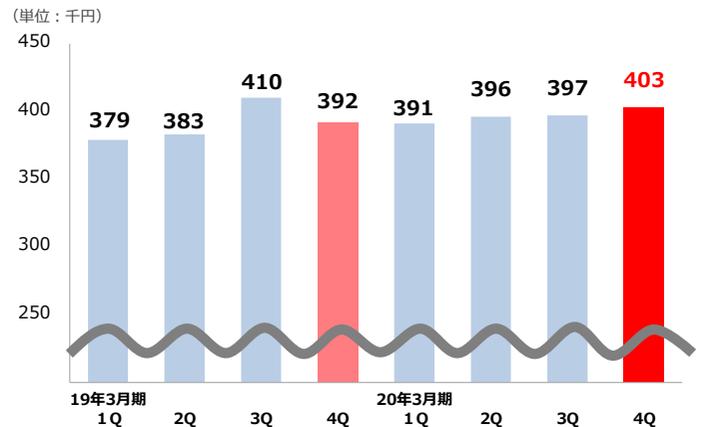


- 2020年3月期累計 一人当たり売上高397千円（対前期+5,500円）
- 高単価の自動車アカウント企業を中心とした配属を推進したが、全体としては、残業時間や休日出勤の減少により一人当たり売上高は微増に留まる

一人当たり売上高（月平均換算）



一人当たり売上高（四半期単位）



Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

12

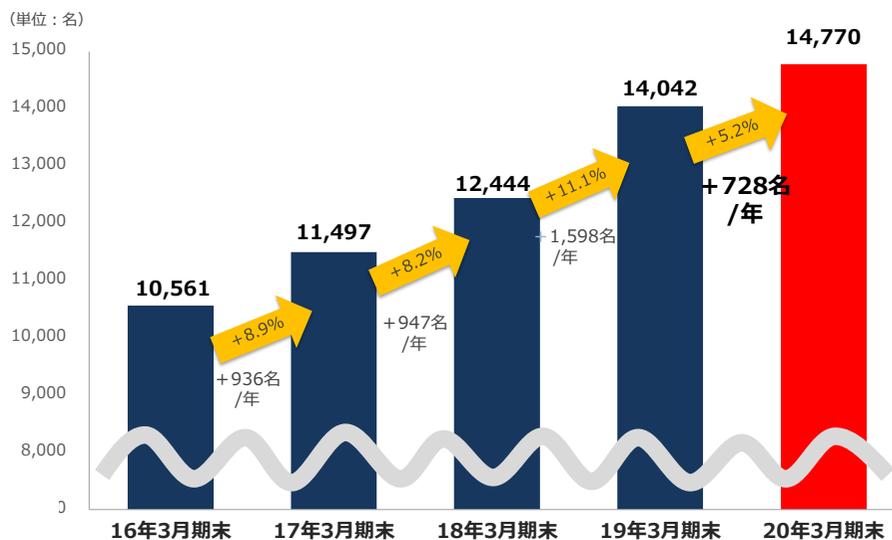
・一人当たり売上高についてご説明いたします。

- ・これまでの一人当たり売上高は、前期に対し、大体6%強、2万円超えで伸びてきていましたが、2020年3月期ではプラス5,500円、1.4%の増となっております。四半期単位の一人当たり売上高をみますと、2020年3月期の第3四半期では前年同期比13,000円の減少となっております。これは単価が下がったということではなく、単価は上がっているのですが、単価の上昇以上に一人当たりの月の稼働時間が少なかったためであり、この減少は米中貿易摩擦問題などによるものではないかとみております。一方、第4四半期では、前年同期比で11,000円伸びております。結果、2020年3月期は前期比5,500円の増加となりましたが、これは、このように第3四半期が影響しているということが言えます。

# 在籍推移（単体）



期末在籍人数の推移



対前期末比 728名 (5.2%)

4 Qでは新車種投入した自動車関連企業、半導体企業を中心に増加し、3 Q末比+132名

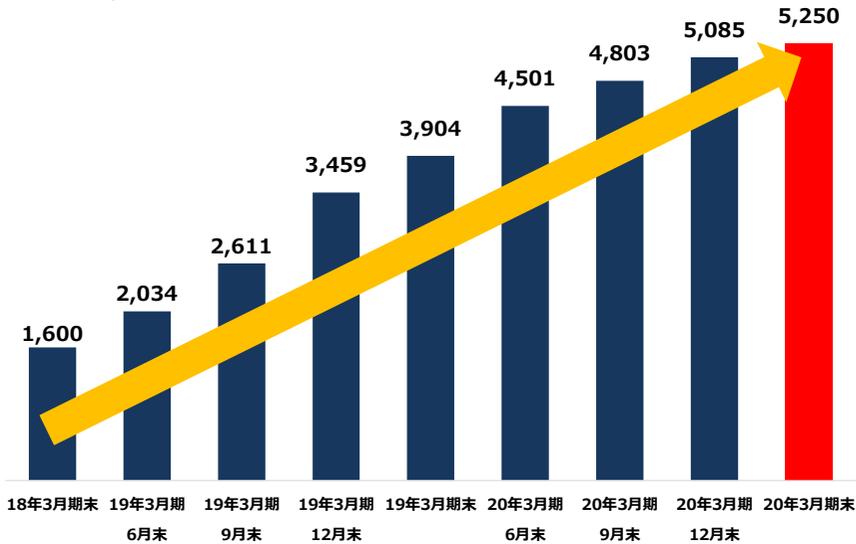
自動車では新車種投入した企業は増加したが、一部では下期需要減により在籍減少となった電子部品、精密・電気機械関連企業では在籍が増加した半導体企業もあったが、電子部品の需要が低迷した状況で推移したため在籍数は微増に留まる

・在籍推移となります。

## 技能社員数（単体）

### 技能社員数推移

（単位：名）



技能社員は引き続き増加。  
自動車、電機アカウント企業を  
中心に配属、シェア拡大を図る

引き続き、顧客ニーズに的確に  
対応するため、戦略的に技能社員  
の育成と配属を進めていく

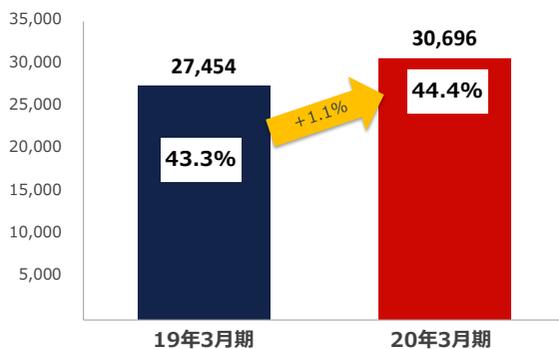
・技能社員数についてご説明いたします。

・今までは順調に技能社員数は伸びていましたが、ここに来て増え方が鈍化しております。これは、今以上に高度な技能を身に付け、より質の高いサービスを提供できる技能社員を育成していくことにウエイトを相当置いていこうという表れであり、このことはこれから将来に向け、収益性の向上であるとか、お客様の高いニーズに対応するというところに繋がってくると考えております。

## アカウント企業について（単体）

### アカウント企業グループ売上高と構成比

（単位：百万円）



2020年3月期におけるアカウント企業売上高シェア率は44.4%となる  
（2020年3月期3Q 43.8%）

自動車企業G・・・下期以降、一部で需要減となるが、新車種投入企業の需要が増加、技能社員の積極的配属により売上高増加となる  
電機企業G・・・半導体企業からの需要は好調に推移、研修修了者を配属し、売上高増加となる  
電子部品企業G・・・一部では需要増加となったが、市場は本格的回復には至らず、全体としての売上高は減少となる

	19年3月期	20年3月期	増減
アカ外計(4G)	27,454	30,696	3,241
全売上	63,474	69,209	5,734
構成比	43.3%	44.4%	1.1P

- ・アカウント企業の状況についてご説明いたします。
- ・全体におけるアカウント企業のシェアは前期比で1.1ポイントの増となっております。また、2020年3月期第3四半期時点の43.8%に対し、期末は44.4%となっており、これは第4四半期にアカウント企業への重点配属が行われたということの一つの証となっております。

## 離職率（単体）

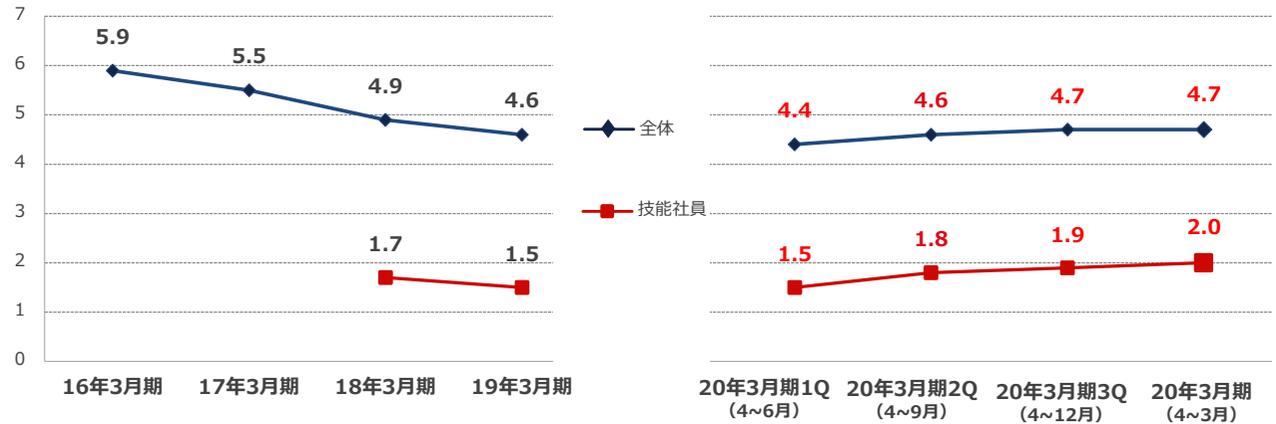


■ 2020年3月期 全体の離職率は4.7% (対2019年3月期 +0.1P)  
 技能社員の離職率は2.0% (対2019年3月期 +0.5P)

■ 生産減少により縮小となる職場が増加、他職場への異動を促進したが、離職率は上昇

離職率推移

(単位：%)



Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

16

・離職率についてご説明いたします。

- ・全社の離職率を四半期単位で見ると第1四半期4.4%、第2四半期4.9%、第3四半期4.8%、そして第4四半期が4.7%でした。若干、改善されてきてはいるものの、まだまだ本来、我々が目指している4%を切っていこうということには程遠いということには十分認識しており、この離職率の更なる改善に向け、働く人たちの視点に立った打ち手を打ちながら4%を切る水準に向かっていきたいと考えております。
- ・課題として技能社員の離職率の上昇があります。2020年3月期の技能社員の離職率は2.0%でしたが、今後、この技能社員が重要な武器になってくるということを考えますと、2%のレベルではなく、やはり従来の1.5%というレベルに戻していくということが重要であり、全体としての離職率の低下にもつながると我々としては考え、離職率低下のための施策を打ってまいります。

## 教育実績（単体）



### 2020年3月期コース別教育実績（延べ人数）

（単位：名）

研修名	3Q (10~12月)	4Q (1~3月)		20年3月期 累計	(参考) 19年3月期 累計
技能社員教育	589	495	技能社員スタンダード教育	1,960	2,522
認定訓練教育	38	33	認定職業訓練校（宮城県・長野県）	200	318
製造教育	1,526	1,340	ものづくり教育 製造スタッフ配属前実習、移動教育等	3,895	3,047
安全教育	1,258	853	危険体感教育	3,455	1,322
保全基礎教育	82	187	設備保全基礎教育	373	167
社員教育	112	85	新卒研修、途中入社者研修、中堅社員 研修、新任主任教育、業務管理者教育	496	292
その他			外部受託教育	28	22
合計	3,605	2,993		10,407	7,690

教育受講者数は前期より大幅に増加、就業者の能力を高め、市場シェアの拡大と業績拡大を図る

需要が引き続き増加している半導体製造企業配属向け保全基礎教育受講者は増加となる

今後も、顧客状況、市場動向を確認しつつ、提供サービスの質の向上、差別化促進のため、積極的に施設、設備への投資を行う

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

17

・教育実績についてご説明いたします。

- ・技能社員教育受講者数が減ってきておりますが、これは今まで以上に高い技能を身につけるため、教育カリキュラムを見直し、充実させたことによります。
- ・保全教育基礎編、いわゆる半導体製造を中心とした設備保全者の育成ですが、この育成については従来から能力一杯の教育研修を行っていましたが、2019年12月に日総テクニカルセンター東日本に新しいクリーンルーム教育設備を作り、教育能力を強化いたしました。今後もお客様のニーズにしっかりお応えし、拡大を図ってまいります。

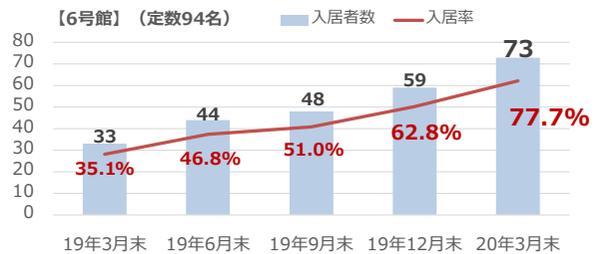
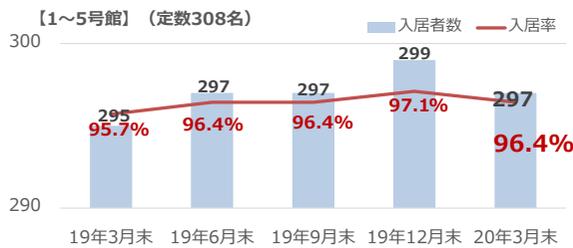
その他の事業実績

(単位：百万円)

	19年3月期		20年3月期		対前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	2,485	100.0%	2,796	100.0%	310	12.5%
経費	2,732	110.0%	2,850	101.9%	117	4.3%
営業損失	▲247	▲10.0%	▲54	▲1.9%	193	

- 売上高は、6号館入居数増により増加となる
- 入居者数未達およびサービス安定化を企図したヘルパー投入による原価増の為、通期営業損失は54百万円
- 3月に入り、入居者内覧者数や在宅事業に新型コロナウイルスの影響が出始めている

施設入居者数推移



Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

・その他の事業についてご説明いたします。

- ・すいとぴー東戸塚(6号館)の入居者数は、定員94名に対し、73名、入居率は77.7%となりました。  
2020年3月期はまだ赤字ではありますが この入居率が77.7%まで上がったことで、赤字額が大幅に減少いたしました。
- ・すいとぴー東戸塚では、当初の入居計画から約3か月遅れ程度の状態で進んでおりますが、今後この入居者増加を促進することによって、その他事業を黒字化していくことを計画しております。しかしながら、この新型コロナウイルス感染拡大の影響で、少し入居のスピードにブレーキがかかるかもしれないという懸念があります。

## 1-2 今後の見通し

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響で世界経済の停滞は避けられない見通し  
※当社の顧客である国内製造業の生産動向や移動制限に伴う人材採用にも影響を与えるなど、先行きの不透明さが増加している

- ・このコロナ感染拡大の与える影響について、現時点では合理的な算定が困難であるため、2021年3月期連結業績予想および配当予想は未定とし、今後、連結業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします
- ・中期経営計画についても開示可能となった時点で公表いたします

### 【コロナウイルス感染拡大の当社事業へ与える影響について】

- ・消費者の購買意欲の低下による製品需要の落ち込みにより顧客の生産への影響が発生
- ・サプライチェーンの寸断により部品供給が滞り、顧客の生産への影響が発生
- ・顧客における罹患発生による生産への影響が発生
- ・顧客が影響を受けることにより、取引規模の縮小や取引終了となる可能性があり、更に長期化すれば当社においても、当面厳しい経営環境が続く

・新型コロナウイルス感染拡大の影響について、現時点では合理的な算定が難しいという状況から、2021年3月期連結業績予想、および配当予想については未定とさせていただきます。

・中期経営計画につきましても、ある程度、新型コロナウイルス感染拡大の影響がどの程度か、あるいはどのようなステップを踏んで、収束に向かっていくのか、見通しがついた段階で開示させていただきます。

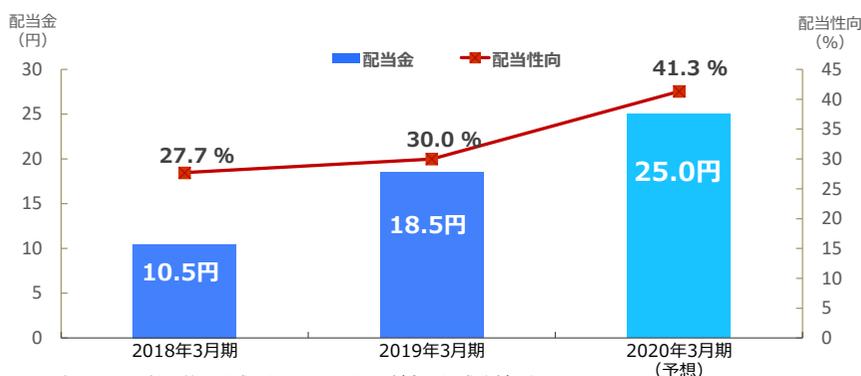
## 2. 株主還元方針

・株主還元についてご説明いたします。

## 株主還元方針



- 当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、成長投資のための資金の確保及び事業環境の変化に対応できる企業体質の強化とのバランスを考慮しつつ、株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。
- 2020年3月期の期末配当につきましては、2019年5月10日に「2019年3月期 決算短信[日本基準] (連結) 配当予想」で公表いたしました一株当たり配当金額（25.00円）を予定しております。
- 2021年3月期の配当予想につきましては、現段階では未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。



2019年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2019年3月期の配当実績は、2019年5月1日付分割後の配当金額を記載しております。

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

22

・株主還元についてご説明いたします。

- ・2020年3月期の配当につきましては25円を計画どおり予定させていただいております。
- ・今後につきましては、現段階では未開示ですが、現在の株主還元方針の考え方を継続しながら、中期経営計画、通期予想を踏まえ、株主還元方針、配当に対する考え方を公表させていただきます。

### 3. 補足資料

# 連結貸借対照表



(単位：百万円,%)

	2019.3末		2020.3末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>流動資産</b>	<b>14,174</b>	<b>67.4</b>	<b>15,622</b>	<b>69.5</b>	<b>1,447</b>
現金及び預金	5,633	26.8	6,365	28.3	731
受取手形及び売掛金	7,757	36.9	8,434	37.5	676
<b>固定資産</b>	<b>6,844</b>	<b>32.6</b>	<b>6,871</b>	<b>30.5</b>	<b>26</b>
有形固定資産	4,942	23.5	4,754	21.1	▲188
無形固定資産	359	1.7	377	1.7	17
投資その他の資産	1,542	7.3	1,739	7.7	197
<b>資産合計</b>	<b>21,019</b>	<b>100</b>	<b>22,494</b>	<b>100</b>	<b>1,474</b>
<b>流動負債</b>	<b>9,161</b>	<b>43.6</b>	<b>9,279</b>	<b>41.3</b>	<b>117</b>
1年内返済予定の長期借入金	183	0.9	126	0.6	▲56
未払費用	4,751	22.6	4,648	20.7	▲103
<b>固定負債</b>	<b>1,312</b>	<b>6.2</b>	<b>1,319</b>	<b>5.9</b>	<b>6</b>
長期借入金	750	3.6	623	2.8	▲126
<b>負債合計</b>	<b>10,474</b>	<b>49.8</b>	<b>10,598</b>	<b>47.1</b>	<b>124</b>
<b>株主資本</b>	<b>10,535</b>	<b>50.1</b>	<b>11,974</b>	<b>53.2</b>	<b>1,439</b>
<b>純資産合計</b>	<b>10,544</b>	<b>50.2</b>	<b>11,895</b>	<b>52.9</b>	<b>1,350</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>21,019</b>	<b>100</b>	<b>22,494</b>	<b>100</b>	<b>1,474</b>

## Point

### ①事業拡大による増加

事業の拡大により、流動資産の現金及び預金、受取手形及び売掛金等が増加しました。

### ②投資その他資産の増加

シルバー人材雇用推進を目的にニコン日総プライム株式を取得したことにより増加しました。

### ③全体

上記の結果、流動資産が増加したことにより総資産が前期比で7.0%増加しました。また、利益計上によって株主資本が増加したことにより純資産が前期比で12.8%増加し、自己資本比率は52.9%となりました。

- ・連結貸借対照表となります。
- ・手元資金は事業の拡大により増加しております。

# 連結キャッシュ・フロー計算書



(単位：百万円)

	2019.3期	2020.3期	増減額
	金額	金額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,565	1,922	▲642
投資活動によるキャッシュ・フロー	0	▲289	▲290
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲2,215	▲901	1,314
現金及び現金同等物の増減額	349	731	381
現金及び現金同等物の期首残高	5,283	5,633	349
現金及び現金同等物の期末残高	5,633	6,365	731

## Point

① 営業活動によるキャッシュ・フロー  
税金等調整前当期純利益、減価償却費及び未払消費税等の増加による収入が、事業拡大による売上債権の増加及び法人税等の支払等による支出を上回り、1,922百万円の収入となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー  
有価証券の取得及び設備投資による支出が、政策保有株式の売却による収入を上回り、289百万円の支出となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー  
長期借入金の約定返済、配当による支出により、901百万円の支出となりました。

Copyright © 2020 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

25

・連結キャッシュフロー計算書となります。

・当面、資金繰りについての課題はないものと認識しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響がどのように拡大するかが測りしれないこともあり、またこの業界のリーディングカンパニーとして雇用に対する責任を十分に理解し、その責任を果たすため、財務についてはさらに強化していくことを計画しております。

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

**〈 I R に関するお問い合わせ先 〉**

日総工産株式会社 経営企画本部 広報・IR部

電話 : 045-777-7630

E-mail : [ir@nisso.co.jp](mailto:ir@nisso.co.jp)

URL : <https://www.nisso.co.jp/>